

決裁区分	部長	課長	課長代理	担当	起案	分類	0・2・4
丙	石原	五味田	櫻井	中村 鳥海	渡辺	起案	4・8・2
						決裁	4・8・4
						施行	・
							・

秦野市公共施設再配置計画推進会議開催結果

会議名	<input type="checkbox"/> 令和 年度 第 回 本部会		
	<input checked="" type="checkbox"/> 令和 4 年度 第 1 回 学校施設との複合化 プロジェクトチーム		
	<input type="checkbox"/> 令和 年度 第 回 ワーキンググループ		
開催日時	令和 4 年 7 月 27 日 (水) 午後 4 時 ~ 午後 4 時 50 分		
開催場所	3 A 会議室		
出席者	政策部長 (チームリーダー)	くらし安心部長	文化スポーツ部長
	福祉部長	こども育成課長 (こども健康部長代理)	教育部長
	教育総務課長 (説明員)		
	事務局	行政経営課 課長代理	
議 題	1 公共施設の複合化等に向けた調整に係る庁内対策チームについて		
	2 学校施設の一体的整備について		
	3 学校施設との複合化に向けた検討スケジュール (案) について		
配付資料	資料 1 公共施設との複合化等に向けた調整に係る庁内対策チームについて		
	資料 2 学校施設との複合化に向けた検討スケジュールについて		
	資料 3 秦野市公共施設再配置計画推進会議規則		
会 議 結 果			
議題 1 及び 2 の説明を踏まえ、議題 3 「学校施設との複合化に向けた検討スケジュール (案)」について、承認を得たもの。			
会 議 概 要			
① 本プロジェクトチーム (PT) は、副市長 (政策部担任) を総括責任者とする公共施設再配置計画推進会議の PT であり、公共施設の複合化等に向けた検討にあたって全庁的な対策チームを設置する必要性から設けたもの。			
② 令和 5 年度に「学校施設の一体的整備の方針」、令和 7 年度には「第 1 期基本構想」を策定予定。「構想」の策定までに、地域との意見交換を重ねて整備時期を固める予定。			
③ 既存の老人いこいの家については、複合化を含めた検討をしているが、老人いこいの家がない地域も検討してもらえるのか。複合化により、学校施設に一般市民の居場所ができるなら、世代間交流の観点からも、老人いこいの家の機能があると良い。 → 老人いこいの家は、直接複合化するのではなく、公民館にいこいの家の機能を設けて、公民館と学校が複合化するイメージである。既存施設がない地域は、その地区の公民館に、いこいの家の機能が設けられるかどうかを検討することとなる。			
④ 学校施設の一体化について、他の施設と複合化した場合のイニシャルコストやランニングコストを基に、整備予定時期などの検討を進めていくことで良いか。 → 良い。検討段階においても、同規模で建替えた場合と、複合化した場合で比較を行い、一体化を採用している。			
⑤ 取り壊す校舎がある場合、その跡地利用は決まっているのか。 → 跡地の処分を考えるにしても、防災拠点として残すべきか否かを含めて検討する。			

⑥ 一体的整備費用について、将来的な財政措置として国から補助金等の提示はあるのか。
→ 既存の補助金に一体的整備の補助メニューはあるが、それが重点化されるという段階にはなっていない。文科省の通知では、共有スペースの取り方など複合化の在り方についても触れているので、今後、新たな補助メニューができる可能性はあるかもしれない。

備考	
----	--